

## 2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議を活かした取り組みで、外部評価の報告や検討会などを設け、地域の密着にはかる。	運営推進会議の開催時に、区長様、行政担当者様から、地域や町制の行事などを提供して頂く。	地域の行事を提供して頂いたうえで情報収集を行い、自治体や町制に参加することで、入居者と地域の方との交流を深め、今後は民生委員の方にも参加も要請したい。	一年間
2	42	食事を楽しむ支援については、キッチンが対面式で狭くて危険であるため、リビングでの調理や仕込みなどが出来る方向を検討する。	キッチンの前のリビングを利用して、調理や仕込みが出来るように工夫をし、声掛けを行い、一緒に手作りのおやつなどをつくる。	調理器具や容器を活用しリビングのテーブルを使用し野菜の切込みやホームプレートを利用してホットケーキやお好み焼き、クレープなどを入居者様に作っていただき、作る楽しみや味あいを皆さんで共有出来るように取り組む。	一ヶ月
3	47	入浴を楽しむ支援は、状態に応じてはシャワー浴のみで、入浴時間の決まりもあるため好きな時間に、入浴ができていない。	福祉用具の購入と入浴の調整。	シャワー浴の方は、補助用具を購入し、浴槽で全身浴が出来るように工夫を行い。時間についても、受診やリハビリの無い日に、希望があれば午前中も入浴を行い、日中拒否をされた方についても、夕方以降入浴が可能になるよう時間の幅を広げる	三ヶ月
4	51	日常的な外出支援は家族が外出を希望されていない方についても、外気浴を行う必要がある。	今現在、中庭が解放されていないことから、整備を行う。	以前中庭を利用して散歩や花の手入れなどを行っていたが、犬を飼い始めたことで閉鎖されてしまったこともあり、今現在では、犬小屋を中庭から別箇所に移し終えています。今後は、入居者のための散歩や園芸、外気浴も可能となりました。	一ヶ月
5					

注1)項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入してください。

注2)項目数が足りない場合は、行を追加してください。

注3)この目標達成計画は、外部評価結果が確定した後作成し、評価機関へ送付してください。また、評価結果と一緒に市町村に提出してください。